

輸血検査部門

輸血部門では、安全で正確な輸血が行われるよう輸血検査業務に取り組んでいます。

主な検査

1. 血液型検査

輸血をするうえで最も重要な検査です。

A 型、B 型、O 型、AB 型いずれかの血液型に判定を行います。

また Rh 陽性、陰性の判定もこの検査で行います。

2. 不規則抗体検査

自然に作られた抗体や、輸血によって作られた抗体を調べるための検査です。

抗体が存在した場合、輸血により副作用が起こる可能性があるため検査を行っています。

3. 交差適合試験

輸血を行う前に、患者さんの血液と血液製剤(輸血用血液)を試験管の中に入れて体の中となるべく同じ状態にし、反応を見る検査です。

輸血検査システムとして CLINILAN BT-2 を使用しています。

患者情報、血液型、輸血製剤の管理、輸血歴、不規則抗体の有無、など

安全な輸血の為、輸血部門で管理を行っています。



輸血用血液製剤冷蔵庫

血液製剤は、定められた温度で管理をしなければなりません。
当検査部では、24 時間温度記録を行い血液製剤の管理をしています。

